

Genetec: 東京電力パワーグリッド様導入事例



画像提供: 東京電力パワーグリッド

会社名

東京電力パワーグリッド株式会社

業種

エネルギー

所在地

東京都千代田区

製品

Security Center



TEPCO Power Grid

将来的に3万台を超える監視カメラを一括管理 GenetecのSecurity CenterでDXを加速

東京電力パワーグリッド株式会社は、首都圏エリアにおいて発電所から各家庭や企業へと電気を送る「送配電ネットワーク」を管理・運営している一般送配電事業者です。近年は、先進デジタル技術を活用した変電所の高度化や、そのメンテナンス、災害対応の効率化を目指し、DXを推進しています。

ITVシステムの更改に伴い要件を満たすSecurity Centerを採用

東京電力パワーグリッド株式会社では、ITVシステム（監視カメラシステム）の更改が必要となっていました。「監視カメラ台数は増加を続けており、将来的に3万台を超える見込みです。また、将来的な機能拡張や運用高度化への対応をするため、システム更改に向けたプロジェクトを立ち上げました。」と話すのは、プロジェクト発足時からプロジェクトマネージャーを務めた篠原 祐一氏。

部門横断で構成されたプロジェクトチームは、次期システムの検討を進めていきました。その際に要件として挙げたことは、「将来的には3万台を超える見込みの監視カメラを一元管理できること」、「高解像度カメラ、AIカメラ等の多種多様なカメラ機種に対応できること」、「画像解析ソリューションと連携できること」、「監視カメラ映像を確認するデバイスの拡充」などがあつたとプロジェクトリーダーを務めた片平 真氏は振り返ります。

検討の結果、数社のビデオマネジメントソリューションが候補に挙がりましたが、最終的にGenetec（ジェネテック）の「Security Center」の導入が決定されました。システム検討チームの主任であった金久保 隆太氏は、「採用の決め手となったのは、基本機能の充実と拡張性、豊富な導入実績、そして容易にカスタマイズできる簡易開発キットが付属していたことを評価し、採用しました。」と当時を振り返ります。

3万台超の監視カメラを統合管理

「システム導入については、想定していたよりも苦労しました。」と話すのは、プロジェクトマネージャーを引き継いだ相馬 智幸氏。「Security Centerはメーカーと機種ごとにシリーズが決められているので、該当のシリーズを選んで簡単に登録できます。また、登録処理時に監視カメラと通信するため、故障しているカメラにも気づくことが可能です。一方、従来のシステムでは、このようなカメラの管理機能がなかったため、設備状況の把握や運用に課題がありました。」

利用者に近い場所での運用とリモートアクセスを実現

東京電力パワーグリッド株式会社では2026年3月に「Security Center」の運用を開始しました。「現在は利用者か

ら要望を受けて監視カメラの追加登録やマップ上へのアイコン配置といったメンテナンス作業を行っています。こうした作業は、監視カメラの台数管理が必要なため、これまで本社にて一括で作業していましたが、Security Centerには監視カメラの管理機能があるので、第一線職場でそれぞれ作業する運用に移行しました。利用者に近いところで登録を行うことで、日常運用の効率化が可能になりました。」（金久保氏）

管理画面の使い勝手について金久保氏は、「Security Centerを導入したことで劇的に良くなったことの一つは、PTZ（パン・チルト・ズーム）といったカメラ操作のレスポンスが向上し、スムーズに動くようになったことです。また、監視カメラ映像の画面表示について、4分割や16分割表示といった設定を利用者が自由に行うことができ、日常の設備監視からトラブル対応等の様々な利用シーンに対して柔軟に対応することが可能になりました。さらに、監視カメラの故障等で通信できない場合は、画面のカメラ一覧上で赤く表示されるため、監視カメラの映像確認が必要となときにカメラの故障が発覚するようなトラブルを防ぐことが期待できます。」と評価します。

相馬氏は「Security Centerでは社内の専用パソコンに加えて、事務パソコンや会社支給のモバイルデバイス等を用いて社外からも監視カメラの映像を確認できます。これはリモートワークにも適していますし、万一、事故が発生したときにも迅速に監視カメラ映像を確認して対応が可能となる点も導入の大きな効果だと思っています。」と効果を挙げました。

DXと将来のAI 活用を支える拡張性の高い基盤を整備

運用開始から間もないですが、利用者からはどのような声が上がっているのでしょうか。相馬氏は「利用者からは満足しているとの声が多い印象です。また、活用方法に関する声も多く聞こえてきており、例えば、蓄積した映像データはAI技術との連携によりDXに大きく寄与する可能性があると考えているので、Genetec社には今後もサポートをお願いしたいと思っています。」と期待を込めました。

今後について金久保氏は、「Security Centerには生体認証を利用した入退室管理、物品管理など豊富なソリューションが用意されており、当社がDXを推進する上での基盤の一つとして、上記の機能も将来的には活用を検討していきたいと思います。Genetecのソリューションは、利用者視点に立つて必要と思われる機能を提供しているように感じており、今後の機能強化も楽しみにしています。」と期待を込めました。

参加者

東京電力パワーグリッド株式会社

DX推進部 システム開発センター システム開発総括グループ グループマネージャー

相馬 智幸氏

東京電力パワーグリッド株式会社

DX推進部 通信ネットワーク技術センター 課長（通信技術担当）

篠原 祐一氏

株式会社エナジーゲートウェイ

プラットフォーム企画開発部 部長

（東京電力パワーグリッド株式会社より出向）

片平 真氏

東京電力パワーグリッド株式会社

DX推進部 システム開発センター システム開発総括グループ

金久保 隆太氏

お客様プロフィール

東京電力パワーグリッド株式会社

本社所在地：東京都千代田区内幸町1丁目1番3号

資本金：800億円

概要：一般送配電事業、不動産賃貸事業および離島における発電事業を展開。低廉で高品質な電気を顧客に供給し続け、顧客や社会から必要とされる企業を目指す。

<https://www.tepco.co.jp/pg/>

画像提供：東京電力パワーグリッド